

慣用句の意味と使い方【解答】

基礎～標準

意味を選ぼう 最も適切なものの記号に○をつけなさい。

問1

「甘いものに目がない」の意味として最も適切なものはどれですか。

ア

よく見えない

イ

とても好きである

ウ

注意力がない

答え

イ

補足：「～に目がない」は、ある物事がとても好きで、夢中になりやすいことを表す。

問2

「鼻が高い」の意味として最も適切なものはどれですか。

ア

においに敏感である

イ

緊張している

ウ

得意で誇らしい

答え

ウ

補足：「鼻が高い」は、自慢に思い、得意な気持ちになることを表す。

問3

「腕を上げる」の意味として最も適切なものはどれですか。

ア

技術や能力が上達する

イ

力仕事を始める

ウ

腕を高く持ち上げる

答え

ア

補足：「腕を上げる」は、技術や能力が以前より上達することを表す。

問4

「首を長くする」の意味として最も適切なものはどれですか。

ア

緊張して身構える

イ

今か今かと楽しみに待つ

ウ

周囲を注意深く見回す

答え

イ

補足：「首を長くする」は、今か今かと楽しみに待つことを表す。

文に合う慣用句 文に合う慣用句の記号に○をつけなさい。

問5

先生から大会の代表に選ばれたと聞き、美咲は自信をもってみんなの前に立った。この様子に最も合う慣用句はどれですか。

ア

頭を抱える

イ

耳を傾ける

ウ

胸を張る

答え

ウ

補足：「胸を張る」は、自信や誇りをもった態度をとることを表す。

問6

弟が何度注意しても同じいたずらを繰り返すので、家族は対応に困っている。この状況に最も合う慣用句はどれですか。

ア

手を焼く

イ

足を運ぶ

ウ

顔が広い

答え

ア

補足：何度注意しても困らされる状況なので「手を焼く」が適切。

問7

結果発表で自分の名前を見つけ、心配していた健太はほっとした。この気持ちに最も合う慣用句はどれですか。

ア

腹が立つ

イ

胸をなで下ろす

ウ

目を丸くする

答え

イ

補足：「胸をなで下ろす」は、心配事がなくなって安心することを表す。

問8

先輩は忙しいのに、困っている一年生の相談に最後まで付き合ってくれた。その姿には本当に感心する。この気持ちに最も合う慣用句はどれですか。

ア

口を出す

イ

足が棒になる

ウ

頭が下がる

答え

ウ

補足：「頭が下がる」は、相手の立派な行いに感心し、敬う気持ちになることを表す。